

松江市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・第2次総合戦略（案）に関する
意見募集の結果及び意見に対する市の考え方について

1 意見募集の結果について

募集期間	令和元年 10 月 16 日（水）～令和元年 11 月 14 日（木）
資料公開場所	市ホームページ、本庁・各支所行政資料コーナー
意見提出者数	3 名
意見項目数	6 件

※以下、「市の考え方」の欄において、特に記載がない場合「人口ビジョン」「総合戦略」は、それぞれ今回お示した「松江市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・第2次総合戦略（案）」を指します。

2 意見の概要と市の考え方

No.	いただいたご意見の概要	市の考え方
1	<p>基本目標が、これまでの産業社会・男性中心社会（ケアをもっぱら家族＝女性に依存しながら経済成長，発展を目指してきた社会）の維持・存続を目指しているように見え，個々の市民を尊重しているように見えない。</p> <p>たとえば、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「人材」⇒材料の「材」（「財」にしても同じ）は組織・集団・社会の立場から出てくる言葉。一人ひとりのためというより，これまでの産業社会の安定のためという立場を取っているように見える。 ・「まちを挙げて結婚・出産・子育てを応援」⇒これも，産業社会を維持するために？ 実際には結婚したいと思わない人も増えてきている。結婚・子どもは個人の自由。結婚したい人だけに税金を使い，したくない人には使わないというのは，やはり多様な価値を認めていないということになる。また，同性婚の権利も言われる今日，結婚＝出産＝子育てとワンセットで言うことへの違和感もある。これだと人権を重視していないと言われても仕方がない。 	<p>人口減少を食い止め、持続可能な地域社会を形成するために、一人一人が個性と多様性を尊重され、家庭で、地域で、職場で、それぞれの希望がかない、能力を発揮でき、生きがいを感じながら暮らすことができる環境を整えることが重要であると考えます。</p> <p>ご意見を踏まえ、基本目標（3）の表現を再度検討するとともに、具体的な取組に際しては、いただいたご意見についても参考にさせていただきます。</p>
2	<p>子育て環境を整えることはとても大切なことですが、女性も自由な生き方を選択できることが当たり前の社会であればと思います。そうした中で「出生数 2,000 人」が目標であるのは違</p>	<p>人口減少を食い止め、持続可能な地域社会を形成するために、一人一人が個性と多様性を尊重され、家庭で、地域で、職場で、それぞれの希望がかない、能力を発揮でき、生きがいを感じながら</p>

	<p>和感を覚えます。個人の自由な選択が尊重されるまちであるべきだと思います。</p>	<p>暮らすことができる環境を整えることが重要であると考えます。</p> <p>産む、産まないという選択の中には様々な事由・背景があると考えます。そのなかで、子どもを産みたいと思う人の希望がかなうような環境を整え、その結果として、人口ビジョンで示す人口維持に必要な 2,000 人／年に達することをめざす「挑戦」として設定するものです。</p>
<p>3</p>	<p>若者・女性も巻き込んで産業社会の価値・目標（経済発展）を追求し続けるばかりでなく、市の生き残りのためには別の価値・目標を探しそちらにシフトしていくことも考えていく必要があるのでは。</p> <p>たとえば、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケア、芸術・美術、井戸端会議（おしゃべり）、文系学問、ボランティア…要するにお金にならないもの ・カワイイ、草食系、スローライフ…競争に勝とうとガツガツしないもの、あるいは負けているもの <p>こういったものは、「おんなこども」のものとしてあまり重視されてこなかったが、こういうものを楽しく追求できるまちこそ、「おんなこども」（若者・女性）にとって、あるいは男性にとっても、魅力的ではないだろうか。</p> <p>日本にまだそのようなまちはない。ぜひ松江市が最初になってほしい。</p>	<p>第2次総合戦略の策定にあたり、若者・女性の考えを施策に生かすため、「まちづくりのための学生アンケート」の実施に加え、市内に暮らす10代から40代の女性に、仕事や生活、将来についてのインタビューを行っています。引き続き、若者・女性の意見等をさらに施策に反映するための仕組みづくりに取り組むこととしております。</p> <p>ご意見についても、参考にさせていただき、今後の取組に活かして参りたいと思います。</p>
<p>4</p>	<p>若者の定住を促進するためには、働く環境やその仕事に就いた後の自分の成長や夢を描くことができるような魅力的な産業・雇用を創出する必要があります。</p> <p>例えば、農業は休みがなく、工場製品と違い同一品質のものを安定的に生産することや生産量を調整することが難しい産業です。そこで、農作業や生産管理などにICTやAIなどの技術導入をすすめ、農業者の働く環境を整え、安定的に生産されることによって収益を増やすなど、農業が夢のある産業となることが必要だと思います。松江市の産業が、若者にとって夢や希望</p>	<p>基本目標（1）では「①きらりと光る元気な企業群づくりプロジェクト」「②農林水産業の成長産業化プロジェクト」「③観光産業のバージョンアップ・インバウンド強化プロジェクト」の3つのプロジェクトに取り組み、若者にとって魅力ある雇用の場をつくり、地域資源を活用して「もうかる産業」を創出することとしています。</p> <p>ご意見について参考にさせていただき、今後の取組に生かして参りたいと思います。</p>

	<p>を持てるような仕事となるように支援をしていただきたい。</p>	
5	<p>若者に選ばれるまちで重視することは「雇用」だと思います。</p> <p>松江市は、進学や就職時の選択肢が都会に比べて圧倒的に少ないと思います。そのため、進学や就職時に都会に出て行ってしまいます。高校生や学生がどのような企業に就職したいと思いい、何を学びたいと考えているのかを把握し、施策に繋げていく必要があります。</p> <p>基本目標1では、「地域資源を活用し、個性豊かで強靱な産業を創り上げ、安定した雇用を創出し、これを支える人を育て活かす」と目標設定されていますが、より若者にアプローチする産業の創出・雇用の創出を目標として施策に取り組むべきだと考えます。</p> <p>ぜひ、若者が松江に住みたい、住み続けたいと思うまちとなることを期待しています。</p>	
6	<p>子育て支援で重要なことは「待機児童の解消」です。現在、子どもを預けようにも希望する保育園には空きがなく、一時保育の利用も待ち状態であると聞きます。少し前に「保活」という言葉がありました。保育園に子どもを預けるための一種の競争になっているのではと感じます。</p> <p>一方で、保育園に預けられたとしても、フルタイムで働きながら子育てや家庭を持つというのはとても大変です。女性の活躍と言われますが、この本質は「男性の意識改革」にあります。実際に子育て中の男性の家事や育児への参画を促すだけでなく、地域社会や職場における男性中心で物事が決定されていく仕組みを大きく変える必要があります。この時、今のシステムに女性の割り当てを増やすということではなく、抜本的に形を変えるということも考えていく必要があるのではないかと思います。</p>	<p>今回の総合戦略(案)を作成する中で実施した市民アンケートにおいて、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」と言う考え方についての質問に対し、「そう思わない」「どちらかと言えばそう思わない」と回答した人の割合は71%で、過去の調査結果から経年変化をみると、概ね上昇傾向にあります。</p> <p>ご指摘のとおり、女性の活躍促進のためには、男性の家事・子育て・介護等への参画はとても重要な視点であり、仕事と家庭の両立をはじめ、労働者も経営者も男性も女性もお互いに理解し協力することが大切です。</p> <p>ご意見について参考にさせていただき、今後の取組に生かして参りたいと思います。</p>